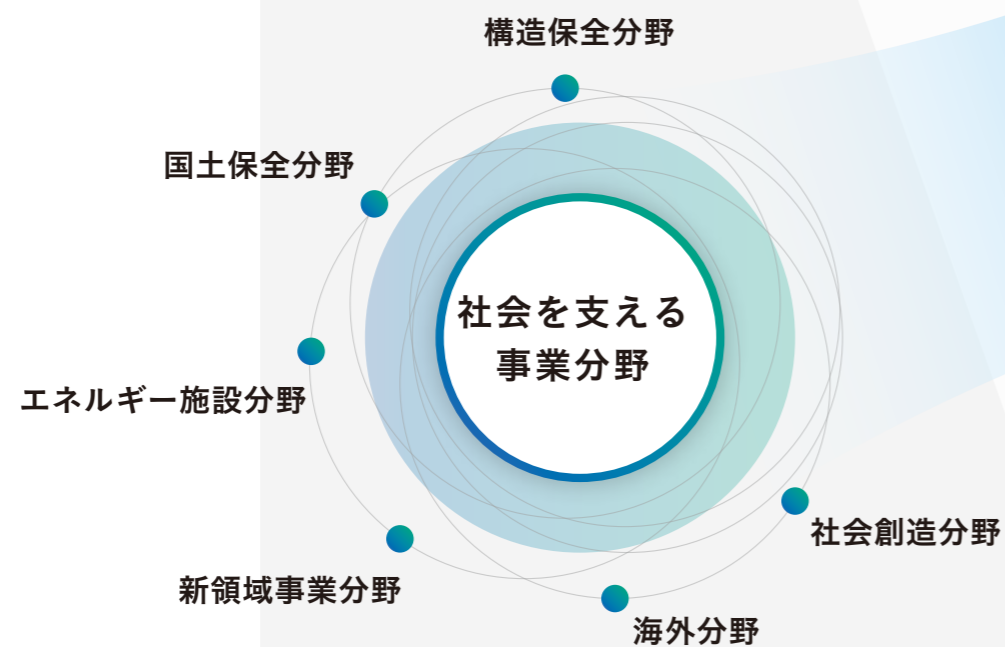


人と自然が 微笑む社会へ

大地と文化と人に、真摯に向き合い
知恵と先端技術を社会に還元しながら
人と自然が調和する未来を創造します



橋梁設計の
トップランナーとして



社会に快適さと
豊かさを

長年培ってきた設計技術に基づき、地域や環境、時代が求める要求性能を考慮し、安全性、耐久性、維持管理性、景観性に優れた橋梁や道路構造物の設計に従事してきました。

これからも、社会が抱える課題や脅威に対して、橋梁設計・長大特殊橋設計・耐震設計などの創造的な技術を駆使するとともに、AIやロボットを活用した維持管理技術や防災技術等の先進的保全技術の開発を行うことで、維持管理の効率化や国土強靱化などの社会ニーズに応え続けます。

ビジョン

ブランド技術の圧倒的強化

- 得意技術である長大橋設計、特殊橋梁の耐震設計及び耐震補強設計技術の更なる高度化

差別化技術の確立

- 面的防災や先進的保全技術、超過作用危機耐性等、他社の有していない技術の確立を目指す

品質向上と付加価値の拡大

ビジョン

地域の資源と情報を活用した地域課題の解決

- ウォークアブル空間による街なかの賑わいの創出
- 脱炭素社会に向けたまちづくりやSDGsの取組
- デジタルデータを活用した課題と解決策の可視化

都市・都市施設の再整備に関する事業への参画

- 都市の拠点となる駅前空間・公園空間の再整備
- 市民の足として持続性の高い公共交通機関の再編
- 災害に強い都市形成に向けた電線類地中化

少子高齢化により人口減少が進む社会。気候変動による頻発・甚大化する災害対応や、地域の暮らしや産業に対する人・モノの移動、ICT 等新技術の発達によるスマートシティに向けた取組の加速化など、社会のニーズも多様になり複雑化しています。

社会創造分野では、国土強靱化や脱炭素社会、コンパクト・プラス・ネットワークの持続可能な都市づくりなどのニーズに対し、「みち」・「まち」、「環境」の面から調査・設計・監理を通じて豊かな社会づくりをサポートし続けます。

実績紹介

- 平成24年度美濃橋保存修理構造基本設計に始まり、令和2年までに12業務を実施
- 令和3年度 土木学会田中賞 受賞



国内最古の近代吊り橋として国の重要文化財に指定されている「美濃橋」

- 平成27年度藤沢駅北口デッキリニューアル予備設計業務委託
- 平成28年度藤沢駅北口デッキ高質化詳細設計委託
- 土木学会デザイン賞2021優秀賞 受賞



軽量化の工夫によってリニューアルされた「藤沢駅北口デッキ」

実績紹介

- バイパスの供用によって現道からの自動車交通が転換することで、渋滞の緩和及び事故の減少並びに現道の道路空間活用による賑わいの創出などが期待されています。



設計に関わった幹線道路のバイパス区間の供用

- 歩きやすくなるまちなかを創出するため、道路、駅前広場、公園及び駅前ビル等の都市アセットを活用した、民と官の多様な連携によるまちづくりに向けた社会実験を企画しました。



道路の歩行者専用化によるまちなかウォークアブルの社会実験

安心・安全な暮らしを実現
自然と調和した、



水の技術

近年、台風や大雨の規模は大型化しており洪水などの風水害は各地で発生し、人々の暮らしに大きな被害をもたらしています。国土保全分野における河川、砂防、下水道、港湾部署では、災害の経験や科学的な知見に基づき、治水・利水計画や防災対策施設設計を行い、自然災害における被害を抑止し、国民の安全・安心な暮らしを支えています。

近年においては、自然の持つ防災・減災機能を生かしたグリーンインフラの整備にも携わっています。

土の技術

社会資本整備では地盤や地下の条件を正確に把握することはとても重要です。地盤の強度、地下水の水位や流れ、地質構造などを調査・解析することにより、地盤の安定性や地下水の影響を評価することが可能です。地盤、のり面やトンネルなどの建設事業では土や岩盤に関する諸問題に対し、地形や地質、地下水に関わる高度な調査・解析技術を用い、地質リスクを適正に把握し、斜面の安定化対策や構造物設計を行う等、自然と調和した社会資本整備に貢献しています。

災害復旧の技術

我が国では気候変動によって自然災害の頻度や強度が増加し、想定外の災害が数多く発生しています。災害発生時には国や地方自治体からの要請を受けて、応急対策や災害復旧のための緊急出動にも対応しています。

これからも私たちは、国土保全分野が担当する幅広い領域において、地域社会の発展と人々の生活の安定を守る使命を持ち、持続可能な未来を築くために、高度なサービスと価値を提供していきます。

ビジョン

国土保全技術の強化

これまで蓄積した国内トップレベルの地盤調査・解析技術に土木設計、土木インフラの維持管理・点検の経験と専門知識を融合させ国土保全技術の強化

安全安心な暮らしの提供

河川、砂防、下水道、港湾、トンネル、地盤、防災の幅広い領域で持続可能な未来を築くために、地質リスクからの保護、環境保全、安全・安心な暮らしの実現に向けた高度なサービスと価値の提供

実績紹介

- 津波・高潮などの災害から陸域を防護する海岸堤防の設計
- 近年の局地的大雨の増加に対応できるポンプ場の能力増加設計
- 浸水被害発生地区における再度災害を防止する河川整備計画
- 老朽化するトンネルの健全性を確保するための補修設計
- 地域の社会・経済活動を支える土砂災害防止施設の設計
- 地形、地質、水文調査にUAV空中電磁探査を用いた崩壊規模の推定
- 八戸港河原木地区土質調査
- 福崎高速道路管内(特定更新等)盛土のり面調査設計検討業務
- 中央自動車道 川岸地区災害応急復旧箇所調査設計



高潮の災害から地域住民の生活を守る海岸堤防



2機のUAVを使った空中電磁探査(実業務で世界初の試み!)

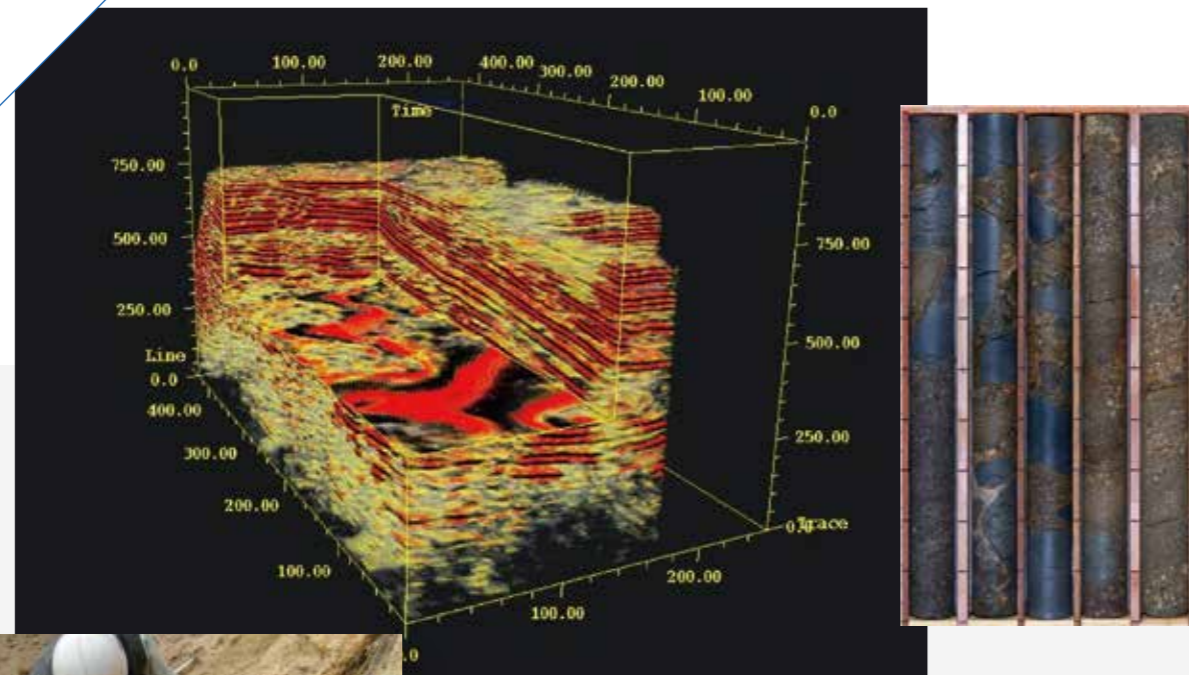


港湾土質調査



中央自動車道 災害復旧箇所調査状況

地質・地盤の要素技術及び解析技術
エネルギー政策を加速させるオンリーワンの



エネルギー政策を加速させるためには、安全な施設が必須です。それらの立地選定や建設には、高度な地質調査・解析によるリスク評価が不可欠です。また、施設の継続的な保全も必要です。私たちは、地質調査、試験、観測、物理探査を中心としたオンリーワンの技術で調査から解析まで複数のエネルギー施設分野のプロジェクトに貢献しています。

ビジョン

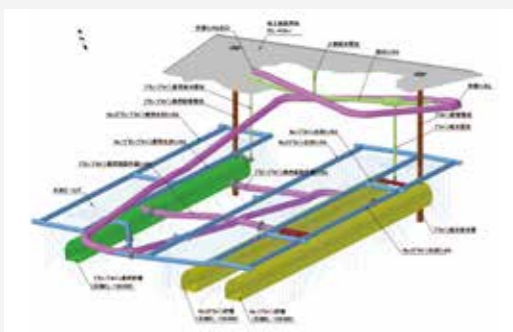
エネルギー施設の地盤評価・解析のための地質リスク評価の要素技術の進化
要素技術の伝承と技術開発により、次世代を担う技術者を育成する。これらオンリーワンの要素技術を内外にアピール

政府のエネルギー政策に沿った対応
エネルギー政策の変更に沿った対応を加速させ、最新の知見に沿った技術導入

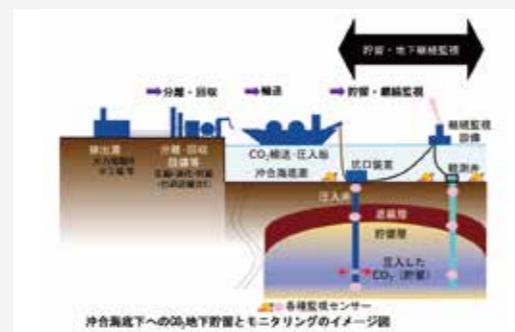
カーボンニュートラル社会実現へのさらなる貢献
最先端の要素技術を生かして、原子力、CCSのみならず、水力、風力、その他エネルギー拡張分野への進出

実績紹介

- 重要施設の地質リスク評価
- 波方国家石油ガス備蓄基地における維持管理業務
- 環境配慮型CCUS一貫実証拠点・サプライチェーン構築事業委託業務（輸送・貯留等技術実証）



波方国家石油ガス備蓄基地俯瞰図
(資料提供:独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構)



沖合海底下へのCO₂地下貯留を想定した一貫実証試験イメージ図

再生可能エネルギーと官民連携による
持続可能な地域づくりへ

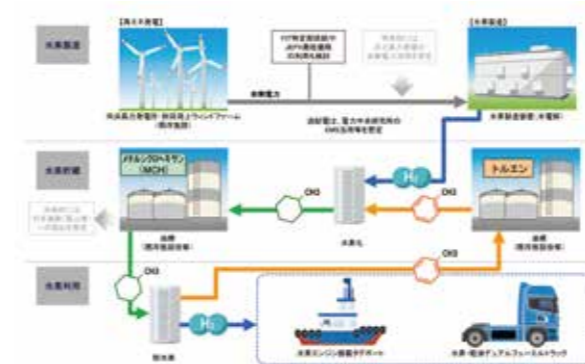
再生可能エネルギーの地産地消により地域活性化を促進し、脱炭素等の社会課題・様々な地域課題の解決を両立する官民連携 PFIスキームの実践により、持続可能な地域づくりを目指します。



自治体・地域企業と連携した持続的なバイオマスエネルギー事業



当社を含む5社共同で株式会社内子龍王バイオマスエネルギーを設立し、愛媛県内子町に「内子龍王バイオマス発電所」を開業しました。未利用間伐材から製造された木質ペレットを燃料に、売電事業と発電時に発生する熱の供給による売熱事業を行っています。施設建設にあたっては、地元企業20社を中心とした資金調達や、地元産材を活用したCLT木造建築により、地域連携型の木質バイオマス発電事業の先導モデルとなることを目指してまいります。



あきた次世代エネルギーコンソーシアム

秋田県内での水素・アンモニアといった次世代エネルギーのサプライチェーン構築を目指し、県内企業5社、秋田大学、当社を設立発起人として「あきた次世代エネルギーコンソーシアム」を設立しました。本コンソーシアムでは、秋田県が日本の次世代エネルギーの供給拠点となり、我が国のグリーンエネルギーを牽引する、持続可能で活力ある地域となるよう活動してまいります。

飛鳥山公園の魅力向上事業



東京都北区王子にある飛鳥山公園は、1873年(明治6年)に指定された日本最初の公園の一つで、古くから人々に愛されてきた場所です。本事業はP-PFI制度を活用し、公園の魅力を最大限に伸ばすため新たな施設建設や既存施設のリニューアルを行い運営しています。「れすとらん館」には飲食店やコミュニティスペースがあり、2023年春の開業以来、多くの人たちに利用され賑わっています。これからも人々が集い、交わる「地域の社交場」として王子地区を盛り上げ続けます。

さらなる進歩を リードするために

積み重ねてきた知見に、たゆまぬ研究開発、技術向上、最先端次世代技術の導入を掛け合わせ、人と自然に優しく、変革を推進しながら、より継続的・効率的なコンサルティングを提案します。



大地と空間、 人と社会の可能性を引き出し、 未来を拓く

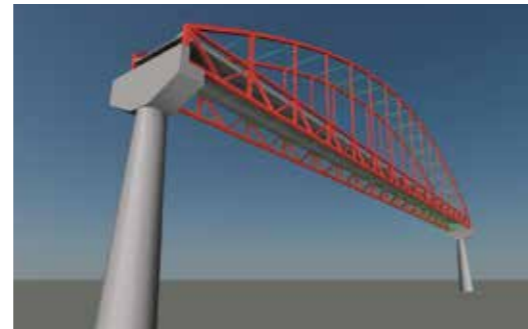
サステナブルな社会を実現する取組は、当社の理念そのものです。

私たちは、災害・エネルギー・インフラ保全などグローバルな社会課題解決に取り組みながら、社会のニーズやすべてのステークホルダーからの期待に応え続け、持続可能で人と自然が微笑む社会の実現に貢献してまいります。

CASE 1 維持管理技術のレベルアップ

持続的メンテナンスの実現、技術伝承、新技術導入等による更なる効率化やコスト削減、インフラマネジメントシステムの高度化が求められている昨今。インフラ技術研究所では、飛行型ロボットによる点検技術や、道路橋床版に対する衝撃載荷試験機を開発・実装し、さらにモニタリングや AI 技術を駆使して維持管理技術をレベルアップしてきました。

時代の要求に応えるべく、持続可能で質の高い社会資本整備の実現を常に考え続けています。



インフラマネジメントへの3次元データの活用

CASE 2 リスクアセスメント・マネジメント技術

自然災害の激甚化により、被災時に道路ネットワークを確保するための面的な整備の必要性が高まっています。私たちは、様々な災害を対象に AI を駆使することで膨大で複雑な条件から最適な整備順序を導き出すシステムを開発するとともに、これまでに培ってきたリスクアセスメント技術と、マネジメント技術をセットで実装し、リスクの最小化と投資効果の最大化が図れる整備計画を提案します。



道路ネットワーク整備におけるリスクアセスメント

CASE 3 のり面点検装置

生活を支える道路・ダム・橋などのインフラは、高度経済成長期に作られたものが多く、人命に関わる事故やライフラインの寸断といったインフラの老朽化が社会問題となってきています。

私たちは、点検作業に UAV 技術と DX 技術を導入した「のり面点検装置」の開発を通じて、インフラの健全性評価と長寿命化に貢献します。



吊り下げ型ののり面点検装置



人と生物が豊かに暮らせる環境の創造

技術とデザインで「場」の持つ力を最大限に引き出し、豊かな自然環境を保全・創造しながら、多様な人々が楽しく便利で文化的な日常を送れる、価値の高い環境を提供します。

人にやさしい環境づくりへの取組

工事などにおける土壌汚染拡散のリスク低減のため、科学的手法を用いた濃集帯の絞り込み、汚染土の拡散リスク評価などを実施し、環境に配慮した対策工の設計に取り組みます。

レジリエントな インフラ構築への取組

石油及び石油ガスの国家備蓄事業に参加。備蓄基地建設前の調査から設計、施工、操業、保全に至るまで関わり、エネルギー資源の安定供給に貢献しています。

再生可能エネルギーによる 社会課題の解決に向けた取組

「ゼロカーボン関連業務」「脱炭素先行地域づくり」を通じて、再生可能エネルギー事業を展開する地方公共団体、地元企業と連携し、地域経済活性化への貢献に取り組んでいます。

ダイバーシティへの取組

多様な人材を受け入れ、社員一人ひとりが個性や強みを最大限発揮し、それぞれがエンゲージメントやウェルビーイングが向上し、永く活躍できる職場環境整備に取り組んでいます。

働き方改革の推進

人材は企業経営における最重要資源。総労働時間の削減、テレワーク制度やフレックスタイム制など多様な働き方の確保とその包括など、社会の動きに合わせて、働き方の制度改革と意識変容に取り組んでいます。

人材育成

顧客と社会の期待に応えるコンサルタントとして、社員一人ひとりが誠実に現場・人・失敗から学び、常に研鑽し続けるために、様々な研修制度や資格取得奨励制度等を整えています。

健全で公正・透明な経営

持続的成長と長期的な企業価値向上を実現するために、経営陣を含めた全社員が企業理念を共有して、コンプライアンスの徹底と企業行動憲章に則った企業活動を推進します。